



いぶき

9

2021年9月
No.189

(公財) 横浜市寿町健康福祉交流協会 広報紙



逝った人の思い出とともに ～交流センターにて～

8月15日(日)、センター広場において毎年恒例となっている物故者供養が営まれました。朝から広場に集合した自治会、支援団体の方々は、時折雨が激しく降る中、テント設営など準備を進めました。

午後、古くから寿地区との関わりがある青葉区の徳恩寺からご住職が来てくださり、舗道に面した一角にあるお地蔵さんにお参りされ、読経の中、地区の方々は亡くなった人を偲び、代わる代わる線香を手向けました。

広場では、バスにて来られた大勢の同寺のボランティアの皆様が、カレーライスの炊き出しを行い、来場者に振舞っていました。新型コロナウイルスによる影響で、今年は袋に入れて渡し、持ち帰りとなりましたが、去年同様盛況でした。



▲ カレーライスの配食の様子

外国出身のヘルパーがほとんどという介護事業所「チャンス」。居心地の良さに類が友を呼ぶがごとく外国出身者が多くなったという。ここで働く鴨志田テレサさんと北中テルシアさん、母国を離れて異国で暮らすだけでも大変なのに、資格を取得し、就労して稼ぎながら生活するというのはさらにハードルが高い。

お二人とも、上大岡にあるたくさんの外国の方々が利用されている介護ヘルパー養成校でヘルパー資格を取得されたようだ。アフリカやロシアなど多くの国々の方々が学び、母国語も異なるのに、和気あいあいと教えあい、助け合って資格を取得していく。台湾出身の講師が優しく教えてくれたらしい。1か月、3か月など様々なコースがあるというが、高いハードルも、優れた指導者と助け合える友がいれば低くなるものですね。

寿地区に来了当初、酒を飲んで路上に寝転んでいる人を見て、介護に入っても「怒鳴られるのではないか」という危惧を抱いていたお二人であったが、確かに、その人に慣れるまでは今でも辛いことがある。「外国人か」「意味が分からないのか」「へたくそ」などと何気なく言われる言葉に傷つくことがある。しかし、それも最初の2～3週間で、荒々しさの中にも徐々にその人の優しさが分かってくると、実際に怖いことはなかった。鴨志田さんは、知り合うにつれて、同じ人間として放って置けない気になる。「帰らないで」と泣かれることもある。決められた時間と業務の枠の中で、求められるものと出来ることの狭間で悩むことも多いという。北中さんも、利用者は優しいし、明るく、楽しい人が多いという。

お二人は、仕事で困ったとき、悩んだ時には、いつでも責任者や同僚に相談できる雰囲気や環境に助けられているという。その一方で代表社員の崔^{チエ}さんは、お二人を始めとするベテラン職員こそが、スタッフの結束と力の発揮を支えてくれていると感謝している。

毎日が楽しく、将来も介護の仕事を続けたいと話すお二人のインタビューには口を挟まなかった崔^{チエ}さんだが、最後に「うちは最初からヘルパー第一主義でやってきました。離職率はゼロです」とニヤリ、胸を張って話してくれた。

文：いぶき委嘱記者 中路博喜（市民の会寿アルク事務局長、NPO 法人ことぶき介護ヘルパー）



▲ 寿町内にて
鴨志田さん（左）と
北中さん（右）



▲ 散髪の様子

横浜市の 相談所

寿福祉プラザ相談室のご紹介 ～時代とともに「人々」を見守る～

寿福祉プラザ相談室の前身である寿生活館の歴史は古く、開設は前回の東京五輪の翌年、昭和40年（1965年）の寿生活館の開館時にさかのぼります。当初、生活館の2階（1階は現在と同じ寿保育園）で、館長1名・職員2名で住民の生活相談にあたっていました。当時は、地区内に子どもも多く、近隣の学校の先生や保健所の保健師が、学習支援や母子などの健康相談を行っていました。

昭和40年代後半以降、生活館の3・4階の増築、一時閉鎖などを経ながら、相談室は、地区の変遷や人々の暮らしを見守り続け、平成16年（2004年）に、今の場所（はまかぜの隣）にプラザ相談室として移転しました。現在、課長・係長・相談員5名で、生活や住居などの様々な相談対応、地域活動支援や宿泊者社会調査、寿地区の理解を深める研修などを担っています。



△ プラザ相談室の入口



◁ 昨年着任した小口秀明担当課長
「これからも寿地区で生活する人たちの安全・安心のために力を注いでいきたい」

プラザでの20年以上経験の相談員の関根和晃^{せきねかずあき}さん ▷
「正に地域に寄り添ってきた先輩の方々の歴史的実践の重みを感じる職場です」



△ 相談スペース

コロナ前線
急接近中！

新型コロナウイルス感染症情報

◆ 今、できることを確実にする

これまでどおり、手洗い、手指消毒、マスク着用、検温などの体調管理、換気をする、人ごみを避ける、三密（密集、密接、密閉）の回避を続けましょう。



◆ 医療機関などのワクチン接種等の取り組み

センター診療所では、毎週土曜日をワクチン接種にあてています（要予約）。

また、地区外の医療機関（藤本じゅんいちろうクリニックなど）が、地域の介護事業所や簡易宿泊所と協力し、集団接種をしている例もあります。



◆ 体調がいつもと違ったら、ためらわずに受診する

体調が少しでもおかしいと思ったら、かかりつけ医に相談しましょう。PCR 検査が必要かどうかは医師が判断し、結果が判明するのには1～2日かかります。



シトラスリボンを知っていますか？

このリボンは、コロナウイルスの感染者や医療従事者への差別や偏見の防止を啓発するものです。このリボンの発祥の地が、柑橘で有名な愛媛県であるため、シトラス色・黄緑色になっています。



かんせんしょう 感染症にのっけ冷やしめん



あつ〜い夏には！

流水めん※

好きな具材を

トッピング♪

水でほぐすだけの麺は、かんたんベンリ！

※スーパーなどで売っています。（約200円／2人前）

感染症にも負けない具材選びを！
発酵食品やネバネバ食材をのせると
腸の働きを助け、免疫力が向上します。



たとえばのトッピング

温玉キムチうどん

材料

- 流水めんうどん
- キムチ
- ツナコーン缶詰
- 冷凍オクラ
- 温泉たまご
- めんつゆ

ほかにもこんなトッピング♪

かいわれ菜、納豆、カニカマ、大葉、のり、アボカド、トマト、サラダチキン、おかか など

監修：田中淳子（管理栄養士・健康コーディネーター室）

エ芸クラブのお知らせ

9月は、「造花でつくる カップフラワー（秋）」です。秋の花や実（造花）を使ったカップフラワーを作りましょう。紙コップに入れたスポンジにさしていただけないので、どなたでも簡単にできます。

※感染症対策のため **19名まで**（多目的室15名、作業室4名）で行います。

【日 時】

9月16日（木）午後1時30分～午後2時30分

【場 所】

横浜市寿町健康福祉交流センター1階 多目的室

【参加方法】

センター1階多目的室前に掲示してある参加申込書に氏名をお書きください。（無料です）



16
(木)

2021
令和3年

9

休

休館日
今月は26日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6 頭脳クラブ 生活館休館日	7 寿 de 健康クラブ	8 アレンジ ボウリング & 輪投げ	9	10	11
12	13 生活館休館日	14	15 スマイル ゴルフ & パター	16 エ芸クラブ	17	18
19	20 敬老の日 生活館休館日	21 寿 de 健康クラブ 生活館休館日	22 書道クラブ	23 秋分の日 生活館休館日	24	25
26 (休)	27 生活館休館日	28	29	30 感染予防レク		

感染予防レクのご案内

30
(木)



レクリエーションしながら、
感染予防のコツを習得しましょう



【日 時】

9月30日（木）午後1時30分～午後2時30分

【場 所】

横浜市寿町健康福祉交流センター1階 多目的室

【参加方法】

センター1階多目的室前に掲示してある参加申込書に氏名をお書きください。（無料です）

定員

12名までです。



寿労働センター 技能講習のお知らせ

募集期間

受付選考日

パソコン基礎(川崎) 8/30(月)～9/8(水) 9/10(金)

ビルクリーニング(川崎) 9/1(水)～9/13(月) 10/4(月)

大型一種 9/6(月)～9/10(金) 9/14(火)

※募集期間に電話での申込が必要です。

上記以外にも受講科目がありますので、詳細はお問い合わせください。

技能講習班 ☎ 045-662-5862

① ☆	②		③ ☆	④
⑤	☆	⑥		
	⑦		⑧	
⑨ ☆				
		⑩	☆	

【↓タテのカギ↓】

①組織などで、ある人の下に属し、
その指示・命令で行動する人

②旧暦9月

④彼は、〇〇〇がきく人ですね

⑥地中に打ち込んで支柱や目印にする棒

⑧心の働きやありさま

⑨英語に訳すと horse「ホース」



【→ヨコのカギ→】

①ドングリがなるのは〇〇科の樹木

③粘土を焼成して作った素焼きの器物

⑤同じ言葉と間違えやすいので、区別するために
「ばけがく」って言い換えています

⑦手紙などの最後に付け加える形で足された文章のこと

⑨一年のうちで最も雨の降り続く季節

⑩お笑い芸人、1人だとピン、2人だとコンビ、
3人だと〇〇〇

前回の答え：ハイビスカス

答えが分かったら、図書コーナーで景品をもらおう♪

広報紙いぶき

2021年9月



第189号 2021年8月31日発行 編集・発行 / 公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会

231-0026 横浜市中区寿町4丁目14番地 TEL: 045-662-0503 FAX: 045-662-0238

公式ウェブサイト <http://www.yokohama-kotobuki.or.jp/>

寿交協



Twitter
始めました。